



# 伊豆市議会だより

**No.64**

2020.5.1発行

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906



(土肥 恋人岬)

## 目次

- 令和2年度の予算が決定 3月定例会 ..... 2
- 市政を問う ～一般質問～ ..... 7
- 議会報告会について お知らせ ..... 12



議会ホームページへ

# 令和2年3月定例会

## 令和2年度予算を審議・可決

### 令和2年度一般会計・特別会計・企業会計予算総括表

※1万円未満は切り捨て

会計名	2年度当初予算	元年度当初予算	比較
一般会計	177億4,000万円	178億9,900万円	△1億5,900万円
特別会計			
公共用地取得事業特別会計	1,725万円	432万円	1,293万円
国民健康保険特別会計	42億5,100万円	42億9,600万円	△4,500万円
後期高齢者医療特別会計	4億7,300万円	4億5,270万円	2,030万円
介護保険特別会計	32億7,300万円	32億5,600万円	1,700万円
簡易水道事業特別会計	2億3,450万円	1億7,480万円	5,970万円
水道事業会計(企業会計)	7億9,111万円	8億5,717万円	△6,606万円
温泉事業会計(企業会計)	7,772万円	6,227万円	1,545万円
下水道事業会計(企業会計)	15億619万円	15億9,479万円	△8,860万円
企業会計			
財産区特別会計(7財産区)	540万円	606万円	△66万円

### 補正予算

★新型コロナウイルス対策費用として、補正予算を可決しました。

◆令和元年度一般会計補正予算(第10回) ……1,040万円

◆令和2年度一般会計補正予算(第1回) ……2億2,820万円

#### 対策事業

○学校の臨時休業が実施され、給食の提供がなくなったことから、昼食の摂取が出来なくなることを危惧し、要保護、準要保護の認定を受けている児童生徒の世帯に休校中の昼食費用を交付する。

○消毒液及びアルコール除菌液を購入し、市内保育施設7園に配布する。

○経済循環の停滞に歯止めをかけるため、市内の飲食店で使用可能なプレミアム率50%の商品券を市民に販売する。

○静岡県制度融資「経済変動対策貸付」の融資を受けた市内中小企業者に、支払った利子の一部を補給する。また、信用保証料を助成する。

○雇用維持を図るため「雇用調整」

### 令和2年度一般会計予算

#### 概要

予算総額は177億4000万円、これは前年度より1%程度削減した編成となる。

令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が予定されていたため、大会を契機に伊豆市の魅力を



を実施した事業主に対して、休業手当等に要した費用の一部を補助する。  
○雇用維持を図るため、雇用調整助成金の申請を行う事業主に対して、社会保険労務士への手数料の一部を補助する。

世界に発信し、大会終了後の伊豆市の活力につながるような取り組みが主な事業となっている。

#### ◆継続事業

パブリックビューイング事業や聖火リレー事業等の「東京2020オリンピック・パラリンピック事業」に7018万円、令和元年度に策定した新中学校基本構想に基づき、令和6年度の開校を目指す「新中学校整備事業」に7000万円、市内における観光事業の健全な発展と進行及び市内に事業所を置く事業者の産業振興を図り、市の生活や文化、経済の発展を図る「伊豆市産業振興協議会委託事業」に2780万円など。

#### ◆拡充事業

補助金の交付や土肥港フェリーターミナルの駐車場整備を行う「駿河湾フェリー利用促進事業」に2900万円、市内に事業所を設置する事業者の家賃等の補助を行う「創業者等支援事業」に590万円。

#### ◆新規事業

アレルギー事故防止等、安全な給食業務の運営のため市内こども園及び児童発達支援センターへの給食業務を委託する「市立こども園給食調理事業」に5290万円、「伊豆縦貫道湯ヶ島土地利用計画調査事業」に1000万円など。

### 条例

#### ◆伊豆市運動施設条例の一部改正

伊豆市社会体育施設から修善寺体育館と土肥南体育館を削除し、旧土肥小学校体育館を土肥社会体育館として加える。土肥南体育館は行政施設から普通財産に移行し、また、修善寺グラウンドを指定管理施設から市の直営とする。

### 人事

#### ◆伊豆市財産区管理委員の選任について

7つの財産区の管理委員会員の任期満了に伴い、各財産区管理委員会から推薦を受けた委員についてその選任に同意した。任期は、令和2年4月1日から4年間。

### その他

#### ◆市道路線の認定/廃止について

認定については、天城北道路西平残土処理場の整備にあたり新設する道路と、道の駅「伊豆月ヶ瀬」に接続した道路を市道路線と認定するもの。

また、廃止については、市山地区において国土交通省が建設する砂防堰堤工事の整備に伴い、菖蒲ヶ入線、菖蒲ヶ入星山2号線、星山菖蒲ヶ入線を廃止するもの。

#### ◆筏場辺地総合整備計画の策定について

伊豆縦貫自動車道天城北道路の開通により利便性の高まった市道矢熊筏場線については、道路幅員が狭く曲線部が多数あり、普通車両のすれ違い通行が困難な箇所が多くなっている。

このような状況を改善し、基幹道路までの交通利便性を向上することで、地域住民の安心・安全な暮らし環境を確保するために5ヵ年の計画として「筏場辺地に係る総合整備計画」を策定し、本格的な道路の改良工事を実施したいと

するもの。



委員会及び連合審査会で次のような質疑がありました

### 総務経済委員会

◆令和2年度伊豆市一般会計予算  
問 伊豆縦貫自動車道等関連事業の大平柿木地区・西平地区建設費

生土処理場整備に伴う土地購入費はこれから南進する縦貫道の準備のためなのか。また国の事業なのに、伊豆市が全部負担するのか。

答 西平の残土処分場はこれまでの天城北道路関連の工事で、土地購入については伊豆市で対応することになります。

問 バス路線維持事業の、令和2年度のデマンドタクシー運行の事業内容の説明を求めます。

答 中伊豆地区で昨年に引き続き9月から2月まで実証実験を行っており、運行を始めるに当たり地域の区長や民生委員さんと運営方

法や実証実験後の目標を定め運行を行ってきました。運行が終わった後、令和2年7月頃、法定協議会の交通会議でこの実証実験の評価をします。評価の結果は出ていませんが、今後の本格運行を見据え予算を計上しました。

◆**筏場辺地総合整備計画の策定**

**問** 市道矢熊筏場線の改良については今まで様々な場面で取り上げられ、今回、辺地総合整備計画の策定で議案の上げがされたが、静岡県からの資金面や道路のルートも合わせて県との関わりは。 **答** 市道改良をできるだけ有利な財源を使って進めることを模索し、合併特例債等も検討しましたが、現時点では一番早く事業を進めることができるのがこの辺地計画です。工法について、県からの指導については承知していません。

**教育厚生委員会**

◆**令和元年度伊豆市一般会計補正予算(第9回)**

**問** 教育費・美術館構想検討業務

委託1100万円について、令和元年度で執行するべきものを令和2年度へ繰越明許の日程は。 **答** 3月末に業者発注の公募をかけ、成果品を秋口ごろに予定しています。

◆**令和2年度伊豆市一般会計予算**

**問** 民生費から、手話言語条例を制定したが、新しい取組みを考えているのか。 **答** 今まで子供の手話教室と中高生の手話教室を実施していましたが、今回市職員向けに手話講座を6回予定しています。多くの職員に参加していただき、手話への理解を求め、普及を進めていく事業を行います。

**問** 児童発達支援センター管理運営事業の園児を受け入れる専門職の体制は。

**答** 1日に受け入れる園児数を10名で想定し6月からスタートしますが、現在利用を申請している園児は8名で、その内、他の園も利用する並行園児が6名です。保育士と看護師は伊豆市の職員、心理士、作業療法士などは外部に委託します。

状況が終息した暁には、耐え忍んだ分、市民が未来に希望を待てるような取り組みを実施して頂きたい。



**令和2年1月臨時会**

1月21日、令和2年1月臨時会を開催し、4件の議案について原案通り可決しました。

◆**令和元年度伊豆市一般会計補正予算(第8回)**

新こども園建設工事の年度内の完了が見込めなくなったに伴い、施工管理委託料や園舎建設工事費などの一部を次年度に先送りするため1億9282万円を減額する一方、ふるさと納税が見込みを上回ったため、返礼品購入費と

システム使用料として4549万円を計上。 また、オリンピック関連道路である市道大野中ノ沢線の台風19号に係る災害復旧工事費として3000万円を計上する。

◆**財産の減額貸付の変更について**

旧天城湯ヶ島支所の減額貸付について、台風19号の被害により貸付施設の一つである倉庫を解体する必要があるため、同敷地内の旧防災倉庫を代わりに貸し付ける変更契約を行う。貸付料や貸付期間等については変更なし。

◆**伊豆市印鑑条例の一部改正**

「印鑑登録証明事務処理要領」が改正されたため、同要領からの引用部分等について改正する。主な改正内容は、成年被後見人による申請又は届出に関することについて。

◆**伊豆市立認定こども園条例の一部を改正する条例及び伊豆市児童発達支援センター条例の一部改正**

開所の日を令和2年4月1日から6月1日に変更する。

**討 論**

**令和2年度伊豆市一般会計予算**

反対討論4件、賛成討論3件

反対討論 (木村建一議員)

平成21年、人口減少を3万5000人で食い止めるとした『人口減少危機宣言』について「平成20年に市長になって、2〜3年で可能性を追求しろという政策はあるのでしょうか」と無責任な発言です。令和2年から始まる第2期総合戦略は『引き続き人口減少に特化した施策を優先する』ことは、その「ふり」をするだけです。 新中学校整備事業は手続き上問題です。基本構想が、議会に示されていないのに基本設計、造成設計等の予算が提案されています。基本構想をきちんと示し、市民にも説明したうえで基本設計等の予算を提示すべきです。

賛成討論 (青木 靖議員)

オリ・パラ開催年度でもあり都市計画区域拡大や新中学校整備など、まちづくり施策に取り組む中、

事業の見直しなどで歳出予算の抑制に努めつつ市民サービスの水準を維持した予算。主要施策は現状の課題をふまえて全ての市民が安心安全で暮らしやすい伊豆市にするための事業。引き続き、合併特例債など有利な起債を活用して将来負担を軽くしながら事業を進めてほしい。

**令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第1回)**

反対討論1件、賛成討論2件

賛成討論 (小長谷順二議員)

伊豆市の基幹産業である観光事業者や飲食店などでは、キャンセルが相次いでいます。そして、新たな予約も入らず非常に深刻な状況が続いています。

3月17日に、新型コロナウイルス拡大対策会議を開催すると伺っていますので、市の緊急経済対策として、市内の事業者が廃業や倒産に陥らないような施策を検討して頂きたい。そして、この我慢の

**令和2年1月臨時会の賛否状況**

件名	議決結果	波多野靖明	山口 繁	星谷 和馬	間野みどり	鈴木 正人	下山 祥二	杉山 武司	青木 靖	永岡 康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島 信也	杉山 誠	森 良雄	木村 建一
予算																
令和元年度伊豆市一般会計補正予算(第8回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
伊豆市印鑑条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
伊豆市立認定こども園条例の一部を改正する条例及び伊豆市児童発達支援センター条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
財産の減額貸付の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	○

※1 ○賛成 ×反対 ※2 議長(三田忠男)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

# 市政を問う

## ～一般質問～



録画配信のQRコード

3月定例会では、13名の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

**長 教育長 答 弁**  
伊豆市教育基本目的である「ふるさと伊豆に誇りを持ち、夢や志を持って心豊かに生きる子供の教育」に向け、麴町中学校の事例を参考にしながら取り組んでまいります。

**長 市長 答 弁**  
第2期総合戦略でも「子育て支援と教育環境の更なる充実」を柱の一つに掲げておりますので、新中学校の取り組みについては、総合教育会議の場を通じて、教育委員会とも連携してまいります。

**長 市長 答 弁**  
**子育て支援と教育環境の充実を柱に！**

自ら考え行動する人を育てるための教育であり、また教員の得意分野に合わせた生徒への関わり方やタブレットを利用した個人レベルにあった学習方法は保護者からの人気も高く、越境入学も多いと聞きます。思い切った学校づくりが必要不可欠ではないでしょうか。



東京都千代田区立麴町中学校の、私立の様な独自の学校教育は、

(波多野靖明議員)

**質問**  
**現代求められる新中学校とICT活用**

伊豆市教育基本目的である「ふるさと伊豆に誇りを持ち、夢や志を持って心豊かに生きる子供の教育」に向け、麴町中学校の事例を参考にしながら取り組んでまいります。

本年度より小学校3・4年生で週1時間、5・6年生で週2時間の外国語授業を実施しており、教員の研修も計画的に進めています。また、中学校では知識や技能だけでなく、表現力・判断力・思考力といったコミュニケーション能力を重視した学習内容が取り入れられています。現在の英語の授業も、多くの時間が英語で行われています。子供たちが将来、社会で活躍できるように、プログラミング教育を通して、論理的思考力の育成を行うことが重要だと考えます。

**長 教育長 答 弁**  
**対話する能力を重視した英語教育が必要**

4年生で英語の授業が開始され、5・6年生では、英語が教科として導入され通知表に成績がつくようになり、中学生は、英語の授業を基本的に全て英語で行うようになっています。又、プログラミング教育が必修化されます。伊豆市の小・中学校での対応、取組みの状況はいかがですか。



文科省の2020年教育改革では、英語改革として、小学校3・

(青木靖議員)

**質問**  
**2020年教育改革と社会変化への対応**

## 令和2年3月定例会で審議した議案

### ■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	波多野靖明	山口繁	星谷和馬	間野みどり	鈴木正人	下山祥二	杉山武司	青木靖	永岡康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島信也	杉山誠	森良雄	木村建一
令和元年度伊豆市一般会計補正予算(第9回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和元年度伊豆市簡易水道事業特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和2年度伊豆市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
令和2年度伊豆市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和2年度伊豆市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和2年度伊豆市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和2年度伊豆市簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和2年度伊豆市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和2年度伊豆市温泉事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和2年度伊豆市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和2年度伊豆市7財産区特別会計予算 ※3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和元年度伊豆市一般会計補正予算(第10回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和2年度伊豆市一般会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○

### 条例

伊豆市運動施設条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
--------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

### その他

静岡県市町総合事務組合規約の一部を改正する規約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
伊豆市農業委員会委員の任命について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
7財産区管理会委員の選任について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
筏場辺地総合整備計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
工事請負契約の締結について※4	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対 ※2 議長(三田忠男)は、可否同数の採決以外は、採決に加わりません。  
※3 7財産区…持越、市山、門野原、吉奈、月ヶ瀬、田沢、矢熊 ※4 月ヶ瀬梅園道路崩落復旧工事

### ■全会一致で可決した議案等

伊豆市伊豆の国市外1組合公平委員会委員の選任について	令和元年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第4回)
令和元年度伊豆市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	令和元年度伊豆市介護保険特別会計補正予算(第2回)
令和2年度伊豆市公共用地取得事業特別会計予算	伊豆市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
ふるさと伊豆市寄附条例の一部改正について	伊豆市森林環境整備促進基金条例の制定について
伊豆市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	市道路線の廃止について

質問

伊豆市のファン作り  
関係人口の創出



(小長谷 順一議員)

総務省は平成30年度より、国民が関係人口として地域と継続的なつながりを持つ機会を提供する地方公共団体を支援しています。

新たな伊豆市ファンをつくることになる関係人口の創出は、地方創生に向けて政策に落とし込み、推進していくことが必要と考えているので見解を伺います。

市長  
市答

人口3万人の伊豆市に  
とって大切な視点

伊豆市のファン作りについては、地域の活力維持につながる切り口としてとても大切な視点であると考えています。まちづくり、地域づくりのために市外にお住まいの方がどのような貢献をどの程度していただけるのか、新たな課題として注視してまいります。

策  
総長  
部答

まずは、伊豆市に関心を持っていただく方を増やし、地域の中で一緒に活動をし、情報発信のキーマンになっていただき、ファンを増やす取り組みと一緒に進めていければと考えております。

質問

伊豆市が予定している  
大型事業の期待と課題



(下山 祥二議員)

今後の伊豆市の大型事業に対して、市民が期待していること、また現状での課題を明確にした上で事業を推進すべきと思います。

新中学校整備事業については、本年1月21日に、校地は日向地区に決定したとの報告を受けましたが、今後の具体的なスケジュールについて伺います。

長  
教  
育答

市民の声を聴き、新中  
学校の基本構想を策定

新中学校整備事業については、教育委員会が慎重に検討を重ねてきました。1月20日開催の教育委員会で日向地区を校地とする旨の方針を決定。令和7年度の開校に向け、取り組んでまいります。校地エリアについては、年度内に決定したいと考えています。

課題である日向地区の地権者の皆さんのご協力・ご理解を頂いた上で、農業調整をしっかり進めることが肝要であると考えております。

質問

雇用の安定と確保に  
ついて



(永岡 康司議員)

静岡県内の2018年3月時点の県外大学卒業者のUターン就職率が37.6%と前年より悪化しています。伊豆市のUターン就職の更なる促進を進め、静岡県とも連携し、就業支援の充実を図ることが急務となっておりますが、今までの様な対応をしてきたのか、また今後の対応をどの様に行っていくのか伺います。

長  
産  
業答

中小企業等奨学金返還  
支援制度を創設

伊豆の国市と共同で合同就職説明会を開催しています。就業希望者には高校生や、県外の大学生も参加しており、貴重なマッチングの場となっていることから、今後も継続をしていきたいと考えております。また、若い世代の人口確保と中小企業等の人材確保を図るため、市内事業所で働きながら奨学金を返済する従業員に奨学金返還支援を行う事業所に対し補助金を交付する「中小企業等奨学金返還支援制度」を創設し、令和2年度予算に盛り込みました。

質問

伊豆市の人口減少対策  
に奨学金導入を



(星合 和馬議員)

伊豆市の最大の課題は、人口減少対策であります。学生のUターン、イターンを推進させる上で、中小企業等奨学金返還支援事業は大変有効な政策であるが、支援事業の内容を伺います。

長  
産  
業答

奨学金導入について  
お答えいたします

奨学金の導入につきましては、「中小企業奨学金返還支援補助金」としてあります。この制度は、若い世代の人口確保と人材確保を図ることを目的に、市内事業所で働きながら奨学金を返済する従業員に奨学金返済支援を行う事業所に対して、補助金を交付するものです。補助対象経費は中小企業が返済を支援した費用で、補助金額は対象経費の十分の九、上限は一人当たり12万円としております。対象従業員の年齢は30歳未満としております。

質問

改めて人口減少対策を  
問う



(山口 繁議員)

人口減少には、出生数と死亡数の差で生じる自然減と、市からの転出と市への転入の差で生じる社会減があります。これまでの伊豆市におけるそれぞれに対する具体的な取り組みとその成果や評価について解読願いたい。

また、今後どのように取り組んでいくのか、何を優先的に取り組むべきなのかについても示していただきたい。

長  
策  
総長  
部答

なかなか効果が表れて  
こない現状です

自然減対策については、出生数を増やすため出産準備金や妊婦検診の回数増、不妊治療助成など取り組みを行ってきましたが、なかなか効果が表れてこない現状です。社会減対策については、「移住・定住の促進」「勤労機会の充実とU・イターンの促進」「子育て環境の充実」を推進しています。今後の取り組みは、若者世代の流出抑制と市外からの流入促進の両方の施策が必要であります。

質問

学校給食無償化を考え  
ませんか



(小長谷 朗夫議員)

いつこうに止まらない人口減少、厄介なことは先の見えない大きな事象です。また対象者は他市町との取り合いにもなっています。ですから移住定住を考える時は、他市町をも凌駕する施策でなければなりません。そこで提案します。移住定住を促進し、最低、人口減少を横ばいにするために給食費の無償化を考えてはいかがでしょうか。

長  
教  
育答

給食費無償化は市全体  
で考えるべき施策

憲法と学校教育法の関係で義務教育を無償とする。この無償とは、「授業料を徴収しないこと」と解されており、給食費の無償化に際しましては、多額の財政負担と市民の理解が不可欠であり、先進事例の成果を踏まえ、子育てや移住定住の施策として、市全体で考えるべき施策であると考えております。段階的な補助制度の創設は全国の自治体でも取り組んでいる事例がありますが、成果や課題を整理し、導入が可能か協議をしたいと考えております。

質問

「人口危機宣言」から11年。掲げた目標は？



(木村建一議員)

「人口危機宣言」から11年間を振り返り、掲げた目標がどうなったのか、発言の経緯を。

- ①平成21年6月議会で「人口減少を3万5000人で食いとめる」
- ②平成24年3月議会で「30代前半で300万円の年収確保で結婚できるように」
- ③平成30年3月議会で「人口減少の危機感が変わっていない。人口全体が減っていくのは仕方がない」

市長 掲げた目標は現状からみると遠い数字

- ①このまま人口減少が続くと行政サービスの維持や財政に深刻な影響を及ぼす危険性があるため、人口減少対策をキーワードに政策を掲げ目標を設定しました。
- ②未婚率が高く、出生数が少ないといった特有の課題がありました。伊豆縦貫道の進捗など道路ネットワークを活かして企業誘致を進めるなど、雇用の確保や所得の向上を目指しました。
- ③全国的に人口減少が進んでいる状況のなかで、伊豆市としてどのように政策を進めれば良いかということを考えて発言しました。

質問

修善寺、天城、中伊豆中学校の再編計画



(西島信也議員)

- ①校地選定について、現修善寺中を活用する場合、一部改修の上そのまま使用するの難しいとのことだが、どこが難しいのか。
- ②新中学校整備事業の概算事業費が、64億4000万円とのことだが、その積算根拠及び内訳を説明願いたい。

市長 基本方針で取り組む教育環境の実現に

修善寺中学校の一部改修では、規模的には統合しても生徒は入れます。しかし、学年ごとに集まる場所や、必要となる英語の専科教室が用意できなくなります。ただ詰め込むだけの環境になり、実現には多くの課題があります。

部長 答

概算事業費ですが、延床面積が9000㎡で3階建鉄筋コンクリート造りを想定、普通教室15室、特別支援教室等の校舍建設で約26億円、体育館・武道場で約12億6000万円、土地取得費、敷地造成工事、グラウンド整備費や外構工事、備品の購入、測量設計工事管理費等で概算事業費は総額64億円と積算しました。

質問

改めて3期12年の市政運営の総括を



(鈴木正人議員)

市長が、来たる4月の「伊豆市長選挙」への「4選目の出馬」を正式に表明され、自らも「改めて主権者である市民の判断を仰ぎたい」と話されている通り、今回の選挙は「3期12年」の市政運営の是非を問う極めて重要な選挙であります。そこで、これまでの市長の政治姿勢を自らがどのように総括されるかを伺います。

市長 地域の皆さんと調整すれば課題は克服できる

私がこれまで考えてきたことは、決断をして実行すれば、前に進むということです。時間をかけるといことは、問題を解決せず、問題を大きくすると考えています。財源も同様で、時間をかければかけるほど問題が容易になるわけでも財源が楽になるわけでもありません。現場主義に徹して、地域の皆さんとしっかり話をして国や県と調整をすれば、課題は克服できるものと、このように考えてやっておりますし、これからもやっております。

質問

防犯カメラで安心安全のまちをつくらう



(森良雄議員)

市長は防犯カメラの導入には消極的なのですが、防犯カメラにはは犯罪の抑止力に大きな効果があります。防犯カメラがなくては犯罪捜査も成り立たなくなっています。防犯カメラの犯罪抑止力について市長はどう考えますか。地域の方が犯罪抑止力が勝ると考えますか。

総務部長 地域の連帯感が防犯の大きな力と考えます

毎回同じ質問をいただいておりますが、防犯カメラの犯罪抑止力は有効だということは十分承知しておりますし、市有施設の管理という観点から設置しております。

また、地域力でございますが、子供たちの下校時間には地域の方々や保護者の方に見守りを頂いております。同報無線でも下校時間に子供たちの下校をお知らせし、地域の皆さんの見守りをお願いしているところ。地域の人の連帯感が地域防犯の大きな力となっていると考えております。

質問

SNSを使った犯罪から子ども達を守るには



(杉山誠議員)

LINEやツイッターなど、登録した利用者同士がインターネット上で交流できるSNSを通じて、子どもが見知らぬ人と知り合い、事件に巻き込まれるケースが増えています。

SNSに潜む危険から守るため、家庭や学校など、あらゆる機会を使って子どもたちを教育する必要がありますが、どのように取り組めますか。

市長 スマホ等を安全に使用する講座を開催

各学校は外部講師を招いて、携帯電話やスマートフォンを安全に使う講座を、小学校の中学年以上を対象に、内容を工夫して開催しています。

また、どんなに学校で教育しても、最終的には家庭の役割が欠かせないことから、参観日や中学校の入学説明会、PTA総会で講座を開き、保護者へも啓発するようにしています。

議会傍聴・視聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしておりますので、ぜひご覧ください。(議会事務局 0558・72・9906)

6月定例会の予定

場所 本庁2階 議場 委員会室

時間 午前9時30分～

5月29日(金) 行政報告・議案上程

6月8日(月) 議案質疑・委員会付託

10日(水) 総務経済委員会

11日(木) 教育厚生委員会

17日(水) 一般質問

18日(木) 一般質問

19日(金) 一般質問

25日(木) 委員長報告・質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。ご了承ください。

# 令和2年 議会報告会についてのお知らせ

毎年5月中旬に開催しておりました伊豆市議会報告会について、新型コロナウイルス流行のため、5月の開催を延期させていただくことになりました。

今年の議会報告会で市民の皆様にご報告する予定だったテーマは、「昨年の報告会が出た意見が、どのように行政へ反映されたのか」です。

これは、昨年行った議会報告会で市民の皆様からいただいた市政に対する要望・意見を取りまとめ市に提出した結果、令和2年度の事業として予算計上された内容になります。

報告内容は市のホームページで公開いたしますが、市議会として皆様のご意見をお聞きする機会を再び設けたいと考えておりますので、今後、開催できるようにいたしました。ぜひご参加ください。



昨年の報告会で出た意見から、行政に反映された事業の紹介  
(※一部抜粋)

## ●給食費の保護者負担の軽減について

私立こども園・保育園に対して市単独の補助金を創設することで、間接的に保護者負担の軽減を図っていく。

## ●奨学金の導入について

従業員の奨学金返還を支援する中小企業等に対して、負担額の一部を補助する補助制度を創設する。

## ●駿河湾フェリーの利用促進について

土肥港フェリーターミナルに隣接する浄化センターに駐車場整備を行うとともに、市内事業者を対象とした駿河湾フェリー利用に対する補助金制度を創設する。

他にも、多数の事業を紹介します。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染の猛威はオリンピックをも延期させる結果となり、未だに収束の見通しは立たず、世界中を大混乱に貶めています。

伊豆市においても基幹産業である観光業をはじめとした経済への影響は計り知れないものとなり大変脅威です。

今後、破綻したインバウンドの仕組みは中国に対する過度の依存度を再考し、多角化を目指して、官民一体となった施策を検討すべき時ではないかと考えます。

議会広報委員 下山 祥二

